

## 平成30年度 第3回中野市健康づくり推進協議会 会議経過書

平成30年11月22日(木)

午後1時30分～

会議室 41

- 出席委員 鈴木 章彦委員、高野 次郎委員、洞 和彦委員(代理者出席)、古田 充博委員、武田せつ子委員、岡田 保雄委員、池田けさ子委員、小林貴三子委員、吉池 照子委員、和田 健一委員、土屋 雅彦委員、吉見 和彦委員(12名)
- 欠席委員 高橋 智子委員、東本 雅之委員、豊田 建一委員、金子 初男委員(4名)
- 事務局 斉藤健康福祉部長、佐野健康づくり課長、小林健康づくり課長補佐兼健康管理係長、早見保健医療推進係長、塚田母子保健係長、外山主査、高木主査(7名)

1 開 会 13:30 武田副会長

2 あいさつ 鈴木会長、斉藤健康福祉部長

3 協議事項 進行:鈴木会長

(1) 「2018健康づくりフェスティバル」について

・今年度の実施結果について

(説明者:早見保健医療推進係長)

→来場者数、アンケート結果の説明

・来年度の講演会の方針について

○ 早見保健医療推進係長

方向性としましては、ある程度ネームバリューがあるスポーツ選手の方はどうかと考えました。オリンピック選手で有名な方の多くが予算的に難しい中で、候補者として、オリンピック銀メダリストである篠原信一さんをあげさせていただきました。

最近、安曇野に家を建てられ、長野のテレビでも見る機会が多くなってきております。相手側事務所とお話させていただき、予算的には大丈夫とのことでしたが、スケジュールが4月にならないと確定しないとのことで、それまで講演会出演は決めることができないとのことでした。

講師の予定に合わせながら、他の行事等も重複しないよう調整して、今年度と同様な時期、10月辺りで、開催を決定していきたいと考えております。

よろしければこのような流れで、会長と相談しながら決めていき、来年度第1回目の協議会時にはある程度決まった形で、案として示すことができたらと考えております。万が一、篠原氏に講演依頼を断られた場合は、現在のところはアスリート関係の

人を候補として、会長と相談しながら、他の講師を決めていきたいと考えております。

- 鈴木会長 篠原信一氏を第1候補で検討していきたいということであるが、いかがか。
- 高野委員 ネームバリューも十分あり、集客も見込めるため良いと思う。
- 鈴木会長 講演内容の指定は難しいかもしれないが、資料に専門分野がモチベーションとあり、年齢に関係なく大事なことであるので、モチベーションについて講演内容に絡めて講演してもらえればと思う。4月まで確定できないということであるが、現時点で、来年度の講演会の講師の第1候補を篠原信一氏で進めていくこととする。

(2) 中野市食育推進計画（第3次）の原案について

（説明者：小林健康管理係長）

○ 小林健康管理係長

前回の協議会において、計画P48の身近な食育13の行動目標について、ポイントを絞って数を少なくした方が実践しやすいのではないかとご意見をいただいておりますが、対象となる方によって、アプローチの仕方が変わってくることもあり、選択して取り組んでいただくことを想定し、項目は減らさず、表現を一部修正させていただきました。修正箇所は資料のアンダーライン部分であります。

また、前回、中間の層、働いている世代へ伝えることが難しい、計画を周知させるには、なぜ今の食事ではいけないかということから入らないといけない、恐怖心を憶えないと人は意識しないため、本計画を進めるにあたり、そのような啓蒙の仕方を検討するようにご意見をいただいております。働いている世代、若い世代への周知は、学校訪問による親子での健康教育、子どもへの教育、食生活改善推進協議会の皆さんによる地域での活動、食と店舗での共同啓発事業を継続することにより、周知をしていきたいと考えております。

- 鈴木会長 行動目標の④「栄養成分表示を利用し」と⑪「食品表示をみる習慣をつけて」と突き詰めれば同じようなことを言っている。⑥、⑦もオーバーラップするニュアンスがある。計画を公表したときに、計画を最初から読み、内容を把握した上で、行動目標をみれば理解できる部分があるが、この最後の行動目標だけを見る方もいる。この計画の象徴となるものとして、記載しているものと思われる。⑦は文章のとおりで抵抗を感じないが、⑥は唐突に出てくるように感じてしまう方がいるのではということと、⑦と言いたいことは一緒ではないかと感じた。⑩は万人に周知する表現としては曖昧では。

また、順番として、地元の食材を利用して、食文化が守られていると考えられるため、⑨と⑬が離れているのはどうなのか。⑫農業体験、料理講習会、健康教室の表記の順番はこれでよいのだろうか。順番は大事であると考え。①～③の順番はよい、④は⑩との兼ね合いがあり、⑤までは良いと思う。それ以降は順番をもう一度考えてもらってもよいのではと思う。コンパクトにすると⑬は不要かもしれない。

- 池田委員 ②、③もセットにできる。

○ 小林健康管理係長

②は運動をすることややせが問題となっており、しっかり食べようということ、③はバランス良く食べようという意味合いで入れさせていただいております。

- 吉池委員 ④は買い物を一緒にしようと並べた方がよい、⑩は上の②、③の食べるに並べたほうがよい。
- 鈴木会長 食というものを大切に考えていきましょうと、それにつけては1日3食しっかり食べて、なおかつ皆で楽しく食べましょうと。食べ残しの表現は食品を大切にしようの方が個人的にはよい。その次に食品表示と流れができるのではないか。
- 小林健康管理係長  
出来る限りまとめられる所は1つに整理する中で、ただ長くなってもいけませんので、1項目を的確に表現し、流れを持たせて順番を工夫すると、本日いただきましたご意見を基に、事務局の方で修正させていただきます。
- 鈴木会長 近年、食事、食育は健康を司る大きな鍵を握っており、すごく注目されている。普段の食生活の問題により、胎児レベルから異常の原因になっているというケースが分かってきている。
- 高野委員 改正後の枠内のヒントの表現は改正前の行動目標でよいのではないか。
- 鈴木会長 行動目標は強い言葉ではないので、そのままよいと思う。本日の意見を検討していただき、他は原案どおりということで、今後パブリックコメントを行い、その後公開することになる。

#### 4 その他 進行：武田副会長

- 事務局 今年度予定している会議の開催は今回が最後。今後協議をお願いしたい案件が生じたら、鈴木会長と相談して日程を決めさせていただきます。

#### 5 閉会 武田副会長 14：20